

大阪消防

— O S A K A S H O B O —

平成30年

1

月号

No.814





大阪市消防局長

藤井
茂樹

新年にあたって

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかな気持ちで新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、本年は自治体消防が発足して70周年の節目を迎えます。この間、大阪市消防局は質実剛健を旨として、数々の災害に果敢に立ち向かい、市民に信頼される消防であり続けることを合言葉に、清廉に職務に邁進することを組織の要諦としてまいりました。

局是となっている『公僕消防に任ずべく、常に**明**るく和を以て、同僚相接し、研鑽怠らず、**強**く備えて、市民に一朝事ある時は、最も**敏**速に臨

み、市民の信頼に答えたい』と初代消防局長が語られた『明・強・敏』の精神は、この70年で、消防が担う役割が多種多様化してきた中においても、常に普遍的であると確信しています。

発生が危惧されている大規模な自然災害やテロ等による災害、武力攻撃事態などにも備えを怠らず毅然として立ち向かう必要があります。災害は常に進化して襲ってきます。大阪市消防局は、日々研鑽に励み、如何なる災害にも微塵も動じず、市民が安心して暮らせる災害のない安全なまち、災害に強いまちをめざして、今年も職員一丸となって頑張っております。



局是

辻本史邑作

Happy New Year
2018

大阪市消防局 期待の星

あけましておめでとうございます

大阪市消防局の職員**36**名から新年の抱負を頂きました。
今年も災害のない安心・安全なまちづくりをめざして
職務に専念します。



柴原 佳希

施設課



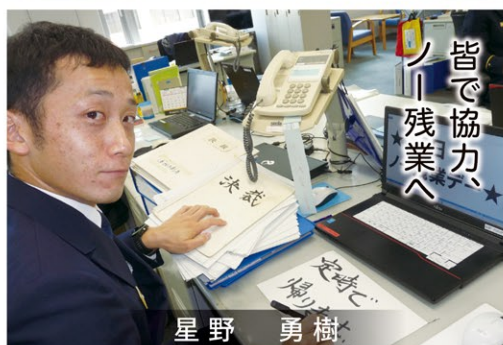
北川 真由佳

総務課



福田 哲也

企画課



星野 勇樹

人事課



日高 大輔

救急課



予防課



小南 靖典

航空隊



松村 勇人

規制課



胡麻 大季

高度専門教育訓練センター



市井 健太

警防課



水野 理宇馬

北



中田 秀樹

司令課



西



都島



港



福島



大正



此花



天王寺



中央



米田 規員

東成



河合 拓郎

浪速



木村 和貴

生野



宮本 大地

西淀川



嵯峨 直樹

旭



高田 理恵

淀川



岡野 巧

城東



森内 彩

東淀川



歌門 武蔵

東住吉



福田 雷人

鶴見



田岡 拓也

平野



松本 裕介

阿倍野



吉村 一輝

西成



今崎 敬太郎

住之江



小嶋 祐希

水上



伏見 奈々美

住吉

Happy New Year
2018

大阪府内消防局・消防本部

期待の星

あけましておめでとうございます

大阪府内消防局・消防本部の職員27名から
新年の抱負を頂きました。

力強さと優しさを兼ね備えたプロの消防としての
自覚と誇りを持ち、今年も一丸となって
全力で取り組んでいきます。



原川 了祐

枚方寝屋川消防組合消防本部



田中 祐太

堺市消防局



森 明 嗣

豊中市消防局



樽野 浩平

東大阪市消防局



川井 文太
柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

今出来る事を
全力で！



松浦 祐樹
守口市門真市消防組合消防本部

予防！
市民のために！



大植 悠真
岸和田市消防本部

アクティブに
繊細に



松井 優弥
吹田市消防本部

元気、ごつ盛り



桶谷 孝太郎
和泉市消防本部

車両の整備は
任せる！



青野 秀紀
高槻市消防本部

安全・安心を
引き寄せる



川合 鈴夏
池田市消防本部

訓練あるのみ！



仲川 精人
八尾市消防本部

安心安全な
まちづくり
火器



橘 龍太郎

茨木市消防本部



眞野 一樹

箕面市消防本部



白井 将真 藤村 実

摂津市消防本部



宮田 佑哉

泉大津市消防本部



山本 拓真

大東四條畷消防本部



若林 秀昭

泉州南消防組合泉州南広域消防本部



中山 脩陸

河内長野市消防本部



清水 一輝

貝塚市消防本部



岩本 康嗣

忠岡町消防本部



宮本 司

松原市消防本部



松岡 利章

島本町消防本部



野呂 俊大

富田林市消防本部



上野 広樹

大阪狭山市消防本部



菊地 豊

交野市消防本部



表紙：大阪城天守閣／編集部

01	このは	新年にあたって	藤井茂樹
02	特集記事	2018 大阪市消防局 期待の星	編集部
07	特集記事	2018 大阪府内消防局・消防本部 期待の星	編集部
11	コンテンツ		編集部
12	グラビア	平成29年度大阪府下警防技術指導会	編集部
14	グラビア	平成29年消防局長歳末視察	編集部
15	グラビア	平成29年度JR西日本大阪支社列車事故総合訓練	編集部
16	いらしやい、大阪消防です!	山本 哲さんを訪ねて	編集部
19	ニュースカプセル	コーヒーとネクタイ	藤井英一 イラスト・山田いつか
20	スポーツ・ア・ラ・カルト	日本マラソン界復活へ 大きな期待を担う大迫	北村弘一
22	レスキューナースからのメッセージ(22)	「当たり前」になっていないですか?	辻 直美
23	救急安心センターおおさかだより		救急課
23	災害概況		警防課
24	コマンドアイ	アセチレン容器から火災発生!	南方面隊
26	調査鑑識	カセットボンベ・スプレー缶に起因した火災について	調査鑑識
28	特集	方面隊のあゆみ(4)〜大火をひも解く〜	司令課
30	大阪市防火管理協会からのお知らせ		編集部
31	環状線		各所属
38	大阪の消防NEWS	摂津市・交野市・河内長野市・泉州南消防組合泉州南広域各消防本部	
40	キセイカナビ	高圧ガス保安法「貯蔵所」について〜昇任試験対策編〜	規制課
41	自衛消防隊紹介		西成区
41	女性防火クラブだより		住之江区
42	秋の叙勲		総務課
44	高齢者叙勲		総務課
45	大阪市消防局災害活動支援隊		総務課・警防課
46	健康ダイアリー	元気に冬を乗り切るう〜冬の健康管理について〜 Vol. 1	人事課
47	親睦会だより	平成29年度親睦会ソフトボール大会結果	大阪市消防職員親睦会
48	大阪めぐり(表紙)・編集室		編集部
表3	救急部からのお知らせ		救急部
14	お知らせ	防災講演会2018「糸魚川大火に学ぶ」	(一財)大阪消防振興協会

第5回大阪府下警防技術指導会

11月28日
高度専門教育訓練センター

大阪府下27消防局・消防本部の選ばれた小隊が、日頃鍛えた技術を競いあった結果、最優秀には東大阪市消防局、優秀には大阪市消防局並びに柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部が入賞した。(詳細については、2月号に掲載)





平成29年消防局長歳末視察

12月1日
大丸大阪梅田店

歳末の繁忙期を迎え、混雑が予想される施設の避難通路、避難施設の状況。防火区画、消防用設備等の維持管理。災害時の従業員の対応等の視察を実施した。



防災講演会 2018

「糸魚川大火に学ぶ」

お知らせ

平成30年1月30日(火)14時00分～16時00分
〔主催〕(一財)大阪消防振興協会・大阪市立阿倍野防災センター
〔後援〕大阪市・大阪府下消防長会

入場無料
(事前申込制)

定員になり次第締め切らせていただきます

場 所

「ヴィアーレ大阪」4階 ヴィアーレホール
大阪市中央区安土町3-1-3 (06-4705-2411)
地下鉄御堂筋線「本町駅」①出口から東へ徒歩3分

申込先

メール: kyokai@ossk.or.jp
ファックス: 06-6459-1458

講 師

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 科長

室崎 益輝 (むろさき よしてる)

お問い合わせ

(一財)大阪消防振興協会 総務課
電話: 06-6459-1451



平成29年度JR西日本大阪支社列車事故総合訓練

12月8日
網干総合車両所宮原支所構内

福知山線列車脱線事故の教訓を踏まえ、関係機関相互の連携と協力体制の確認をすることにより実災害対応能力向上を目的として、平成17年以降、毎年実施している。大阪府警22名、市内災害派遣医療チーム（DMAT）12名、JR西日本165名、当局からも23名が参加して実施された。



足田 達矢さんからの紹介 『 山本 哲さんを訪ねて 』

幼い頃から美しいものに心惹かれていました。高校生の時には美術部に入り、その時の顧問が日本画の烏頭尾精（うとうせい）先生（創画会）でした。先生からは、美術に対する見方や芸術に向かう人のあり方など多くのものを学びました。

芸術の道で生活するのは容易なことではないと考えて、一般の大学に入りました。大学では、哲学を専攻していて、カントやニーチェを原語（ドイツ語）で読ん

螺鈿との出会い

で、真面目に学んでいました。大学生活も終わる頃に、展覧会で黒田辰秋さん（故人・人間国宝）の作品を観て、螺鈿の美しさに魅せられて自分でもこんな作品を創ってみたいと興味を抱きました。

大学卒業後一年間勤めをしていましたが、地元の奈良に螺鈿の漆器があるのを知って、知人の紹介で樽井喜之（号・禧酔）師に弟子入りをしました。

師は、奈良を中心とした寺社の漆塗りを精力的に行っている人で、私が弟子入りする少し前にも再興された

薬師寺金堂の須弥壇（しゆみだん）の漆塗りを若くして成し遂げていました。薬師寺の伽藍復興が熱を帯びている時代で、その中心には最後の宮大工といわれた故西岡常一棟梁がいて、若き日の小川三夫さんなども忙しく動き回っていました。

師の相伴とはいえず、その現場にいたことは得難い体験でした。

その後、薬師寺大講堂が造営された折、論義臺などの内陣莊嚴具の漆塗りを境内に80畳敷の特設の作業場を造ってもらって、師と一緒に汗を流したのも楽しい思



漆芸螺鈿（しづげいらでん）

やまもと さとし
山本 哲

プロフィール

- 1955年（昭和30年） 奈良県生駒市に生まれる
- 1977年（昭和52年） 関西学院大学文学部哲学科卒業
- 1978年（昭和53年） 黒崎貿易株（現・IDEE）入社
螺鈿の美しさに魅せられ、漆芸を志す
- 1981年（昭和56年） 会社を辞し、奈良の漆師樽井喜之（号・禧酔）の下で髹漆（きゅうしつ）及び螺鈿の修業を始める
独立、自営の道に入る
- 1990年（平成 2年） 第7回日本伝統漆芸展入選
- 1995年（平成 7年） 第37回日本伝統工芸近畿展入選
春日大社第59次式年造替、御神宝制作
- 1996年（平成 8年） 淡交ビエンナーレ・茶道美術公募展入選
- 2000年（平成12年） 日本工芸会正会員認定
- 2002年（平成14年）～ 2003年（平成15年）
薬師寺大講堂、内陣莊嚴具漆塗に従事
- 2003年（平成15年） 高島屋大阪店美術画廊にて岸本圭司氏と漆芸二人展
- 2004年（平成16年）～ 2005年（平成17年）
京都迎賓館主賓室、調度品制作に従事
- 2005年（平成17年） 第34回日本伝統工芸近畿展 近畿賞受賞
- 2007年（平成19年）～ 2008年（平成20年）
重要無形文化財螺鈿伝承者養成研修会（文化庁）助手を務める
- 2008年（平成20年） 第26回日本伝統漆芸展 林原共済会備中漆賞受賞
- 2010年（平成22年） 大徳寺龍光院 燈台一對制作
- 2017年（平成29年） 伊勢・神宮美術館特別展「野一歌会始御題によせて」展出品
- 現在 日本工芸会近畿支部常任幹事・漆芸部会部会長

私生活では、二女の父。趣味は、椿、紫陽花、東洋蘭の栽培。茶器収集。篆刻など。



メキシコ鮑



鮑



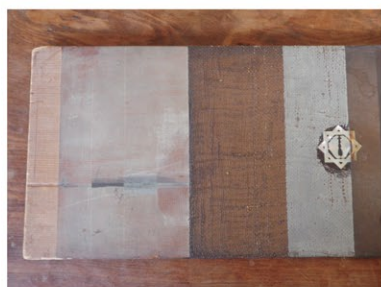
夜光貝



黒蝶貝



白蝶貝



い出です。

通いの弟子として3年間師の下で修業をした後、独立して工房芸廠（そううんしょう）を構えて37年になります。

奈良漆器とは

奈良における漆器は、7世紀の飛鳥時代に朱漆で器物で塗ったものが最初といわれ、日本の漆工芸の発祥の地の一つとされています。

奈良はシルクロードの東の終着駅で、古代エジプトにまでその起源を溯れる螺鈿は、木画や鏡背を飾る素材としてシルクロードを進み、中国・唐の時代の一つの盛期を迎えます。正倉院に残る宝物はそれを雄弁に物語っています。

奈良時代に伝えられた螺鈿は、漆地螺鈿として、蒔絵と組み合わせられて独自の展開をしてきましたが、螺鈿の技法を現代に伝える漆工芸です。しかし、厚貝を用いた螺鈿と蠟色仕上げという複雑な工程と高度な技術が求められる為に、その伝統を受け継ぐものは数人

の工人だけになっています。

他の技法としては、根来塗（朱漆塗）や断文塗、漆器とは違う分野ですが象牙を染めて彫り文様を入れる撥鏤（ばちる）の技法も伝えられています。

年間に作られる作品は

日本工芸会の全国、近畿、部会展へ出品するため作品を一年に2〜3点創っています。それ以外には、個人的に注文を頂いたもの、長年引ききして下さる工芸店のオリジナルな漆器も制作しています。

工程は、木地固め、刻苧、刻苧かい、布貼り、布固め、貝貼り、貝囲い、地粉つけ、切粉つけ、錆つけ、下塗、炭研、中塗、炭研、毛彫、蠟色塗、貝めくり、蠟色研、胴擦り、摺漆、磨き、蠟色磨等、約30工程あります。作品や技法によっても違いがありますが、だいたい3カ月くらいで仕上げています。私の場合は漆の器があつて文様を入れるというスタイルではなく、作品の形や文様、素材などの構想を練つ

てから制作に入ります。

器の素地は、麻糸を漆で固めた縄胎や麻布を固めて整形した乾漆も用いますが、檜の薄板を組み合わせた所謂指物（さしもの）木地が中心となります。

四角な箱や水差し等、基本は全て自分で創っています。特に複雑な形の物は木工の職人さんをお願いする事もあります。

螺鈿に使う貝は……

私が使っている貝は、4cm四方厚みは約1mmの厚貝です。主に夜光貝、白蝶貝、黒蝶貝、鮑、メキシコ鮑。真珠が出来る内側が美しい光を放つ貝が原料です。今は少なくなりましたが、泉州地方には昔から貝を加工する業者さんがありました。以前は、多量の材料の中から一つ一つ手に取って気に入ったものを買っていましたが、最近は好きに選べせて貰えないので、自分好みの材料を揃えるのに苦労しています。貝も生き物なので二つと同じものはありません。

貝だけでなく、蒔絵に使う金粉も近年高騰していますし、国産の生漆は中国産に比べて何倍もの価格です。材料だけでなく、漆芸に用いる道具の将来も不安です。蒔絵筆は材料の鼠（琵琶湖の芦原に生息）の毛が入手できなくなっていますし、漆の研（と）ぎに使う研ぎ炭（日本油桐の炭）を作っているのも日本で一軒だけとなりました。

細工について

材質の持っている色や模様を大切に表現するため、貝の選別には時間をかけます。約1mmの厚みのものを糸鋸で、其々の模様を切り出しますが、特に透かし模様は手間が掛かります。

透かし模様はルーター（歯科医師が使っているドリル）を使って穴を空け、金工用の糸鋸を穴に通して模様どおりに内側の抜く部分を先に切り、その後輪郭を切り抜きますが、細かい作業ですから気が抜けません。繊細なものだと、一日に3個ぐらいしか出来ませ

ん。

一般の方にはなかなか理解してもらえないのですが、漆の乾燥には湿気が必要で、室（むろ・木の部屋）に入れて、湿度の調整をするのですが何年やっていますか。梅雨時は乾きすぎますし、今の時期はストープを点けて加湿をしながら作業をしています。

個展もされてますが

個展は、展覧会に出品する1点だけではなく、自分の仕事の広がりを見て頂けるので力が入ります。

高島屋（大阪店）さんでもさせて頂いてますが、多数を出品しなければならぬので、年数を空けなければ作品が揃いません。漆芸の場合はなかなかむずかしいので、近年は二人展やグループ展に出品することが多くなっています。

漆器を使う方が減っている

漆器を作っても、売れなくなっています。最近は漆器を使っている人が減っています。

ですので、物作りの流れがむずかしくなっています。

漆器は、堅牢でどんな薬品にも侵されません。食器としては、温度を伝えるにくい（冷めにくい）し、菌の繁殖をも防いでくれます。使い込めばより豊かな風合いが出て来ます。漆の良さをもっと知って頂きたいですね。

今後の目標は

40年近く漆の仕事に関わってきましたが、思い返してみれば、漆や貝を使っている自分自身の表現の獲得の道程のような気がします。テーマは初心から変わらず、「四季の移ろい」です。日本の自然や自然に動かされる心を、どのように漆の技法を使って表現できるのかをずっと問い続けて来たように思います。

まだまだ試したことのない技法もありますので、それをも含めて、作品として結晶させたいと思っています。また肩の力を抜いた生活に潤いを与える器も作りたいと思っています。



彩切貝水指「凧」



螺鈿漆匣「喜久壽」



彩切貝蒔絵匣「大和春秋」



石地塗螺鈿匣「うつろひ・花」

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、
その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第45回

コーヒーとネクタイ

◎コラムニスト 藤井 英一

明治21年に喫茶店第1号

10月1日は「コーヒーの日」。「出来事でつづる365日・きょうは何の日？」（毎日新聞社刊）によると、全日本コーヒー協会が1983年に制定した。それによると、わが国の近代的喫茶店は1889年（明治21年）4月13日、東京下谷黒門町に開店した可否茶館が最初とされる。一杯1銭5厘、牛乳入りは2銭だった。

将軍吉宗も飲んだ？

日本におけるコーヒーの歴史をひもとくと、1724年、ヨハネス・ティデンスの「和蘭問答」の中に「唐茶（コーヒー）調給申候」とある。享保9年のことであり、将軍吉宗も飲んだかもしれない。味は、1804年（文化元年）に出版された太田蜀山人の本に「紅毛船でコーヒーを勧められたが、焦臭くして味ふるに堪えず」とある。

印象深いスリルな苦味

喫茶店コーヒーの味は格段に向上。高校生時代にはスリルな苦味、サラリーマン時代は打ち合わせや待ち合わせで日に数回出入り。シアトル系チェーン店はやりの昨今、磨きこまれたカウンターを前に静かに音楽も楽しめる往年の店探しに懸命である。

万次郎が持ち込んだ

10月1日は「ネクタイの日」でもある。1971年に制定。7日までの1週間をネクタイ・ウィークとした。日本ネクタイ組合連合会によると、国内最初のネクタイ製造は1885年（明治17年）のこの日、東京で小山梅吉が製造した。わが国に最初に持ち込んだのはあのジョン万次郎。難破10年後の1851年（嘉永4年）に米国から沖繩に帰ったが、所持品に「襟飾」（ネクタイ）があった。

サラリーマン時代の古いネクタイからは、かすかにコーヒーの香りがする。



イラスト：山田いつか

日本マラソン界復活へ
大きな期待を担う大迫

毎日新聞大阪本社編集委員

北村 弘一

PROFILE ● きたむら・こういち

毎日新聞大阪本社編集委員。

1964年滋賀県生まれ。東京運動部時代に2002年サッカー・ワールドカップ日韓大会を取材。秋田支局次長、北海道報道部副部長、鳥取支局長などを経て、今年春まで大阪運動部長。趣味はマラソン。

日本マラソン界待望の新星と言っていたいだろ。12月3日にあった第71回福岡国際マラソンで5000メートル日本記録保持者の大迫傑（ナイキ・オレゴンプロジェクト）が2時間7分19秒で日本勢トップの3位に入り、2020年東京五輪の代表選考会・マラソンブランドチャンピオンシップ（MGC）の出場権を獲得した。

印象深いのはその走法だ。つま先で着地し、つま先で蹴る。足が接地する時間が極めて短く、体のバネを生かし、腰を高い位置に保つ。身体能力が高いアフリカ選手に顕著な走法だが、日本人が習得するのは難しいとされてきた。

大迫にとって福岡国際は2度目のマラソンチャレン

ジだった。初マラソンは今年4月のボストン（2時間10分28秒）で3位。「心臓破りの坂」で知られるボストンは起伏が多いタフなコースが特徴だが、ほぼフラットな福岡のコースでタイムを3分以上縮めたことになった。

レースは30キロまで、キロ3分に設定されたペースメーカーが引っ張った。30キロ通過は1時間30分8秒。優勝したソンドレ・モージェン（フルウエー）、ビダン・カロキ（DeNA）が32キロでペースアップしたが、大迫は「ここでガツンと行けば、後半やばいと思った」と自重した。

それでも30キロからの5キロは14分55秒とペースが上がった。35キロからの5キロは15分18秒とやや落ち

たが、カロキを39キロでとらえ、ロンドン五輪マラソン金メダルのステイブリン・キプロティク（ウガンダ）に最後まで食らいついた。

力を使い切ったように、フィニッシュテープを切った大迫はガツンポーズを見せなかった。「何も考える余裕がなかった。100%、自分の力を出せた」と振り返った。

大迫は東京・町田市出身。長距離の名門・佐久長聖高校（長野）に進んだ。高校2年で全国高校駅伝の最終7区区間賞に輝き、3年の時は1区で区間賞。早稲田大時代の箱根駅伝でも2年連続の区間賞を奪い、エリートコースをまっすぐ進んできた。卒業後は日清食品グループと所属契約を結

び、2015年元日のニューイヤーマラソンでも1区区間賞を獲得。しかし、この年の3月末に米国に渡って、ナイキ・オレゴンプロジェクトでの練習を本格化させた。

このチームは70〜80年代に活躍したマラソン選手のアベルト・サラザールがヘッドコーチを務め、ロンドン五輪の男子10000メートル金メダルのモー・ファラー（英国）、同銀メダルのゲラン・ラップ（米国）を育てた少数精鋭の陸上長距離チームとして知られる。

大迫は大学時代にチームを視察し、サラザールにアジア人として唯一加入を認められた。現在は高橋尚子が練習したことで知られるコロラド州ボルダーに練習拠点を置いている。チー

ムの練習はボールに包まれているが、高地トレーニングを通じて心肺機能を高めるなかで、20〜30キロの距離走と、トラックでのスプリント練習を重ねたという。長距離と中距離の垣根を取り払った練習を通じて、日本人では希有なフォームを習得していった。

福岡国際でMGC参加資格を得たのは大迫のほか、上門大祐（大塚製薬）、竹ノ内佳樹（NTT西日本）を含めた3人で、参加資格者は8月の北海道マラソンで優勝した村沢明伸（日清食品グループ）を含めて4人になった。

日本陸連の瀬古利彦マラソン強化戦略プロジェクトリーダーはかねがね、「短距離には（1000メートルで10秒を切る）桐生祥秀（東洋大）のような存在が現れたのに、なぜマラソンには誰も出てこないのか」と嘆いていたが、福岡のレース後「すごくホッとした。アップパレをあげたい。東京五輪の時に脂がのる年齢になる世

代が上位で良かった」と冗舌に語った。

最近、瀬古、弟猛とともに1970〜80年代の黄金期を担った宗茂さん（元旭化成陸上部監督）に日本マラソン界復活へのポイントを聞く機会があった。

「大迫は日本のエースになるかもしれない。ただし、一発ポンと無欲で記録を出しただけでは駄目なんです。高いレベルの練習をしながら、実力を維持するこ

とが大事です。狙って、欲を出して、記録を残す。そうなるとその姿勢、練習を真似る選手が出てきて、初めていい流れが出てくると思うんです」

大迫が残した2時間7分台前半の記録は日本歴代5位。ちょうど10年前の07年福岡国際で佐藤敦之（現京セラ女子陸上部監督）が残した2時間7分13秒以来となる快挙だ。20年の東京五輪に向けて大きな期待を担

うことになったわけだが、大迫は「今から3年後を意識しても（先が）長い。まずは一つ一つの大会、練習を大事にしたい」と冷静に語る。今後のレースでどんな記録を残していくのかに注目は移るが、新星の出現が他の選手にどんな刺激を与えることになるのかを含め、日本マラソン界復活への大きなステップになったことは間違いない。



福岡国際マラソンで2時間7分19秒で3位に入った大迫傑



レスキューナース からのメッセージ

Vol.22

国際災害レスキューナース
辻 直美

「当たり前」になって
いないですか？

命と向き合う現場にいらっしゃる消防士の皆様にとって、命が有る事は「有り難い」と、日々実感されていると思います。

しかし・・・世の中の大半の方は命が有るのは「当たり前で、他人の経験は自分の人生にはさほど関係なく、自分に同じ事は起こらない」と感じています。

何故なら、今や大抵の方は現実「命に向き合う」事が無い。事故も、火事も、病気も、どこかバーチャルなものです。有るのは知っているが、リアリティがなく、自分とは無縁と思っている。有ることが「当たり前」で、無いという現実是有り得ないのでしょう。

人はみんな自分の「感覚」、「常識」、「捉え方」、「経験」を元に、それを基準にして生きています。恥ずかしながら・・・私自身も「自分の常識や考えは当たり前」、「私が知ってる事は、全部は無理でも知ってるよね?」と思っていた時期があります。でも、現実「当たり前」なんかじゃなかった。そして、「自分の知ってる世界や感覚からもつ基準や常識」なんて、相手にとっては全く違うものだとなりました。

何故こんな事を言ってるのか？

私の開催する防災講座でお伝えする内容は、災害現場に行ったことのない医療者にとっては全く経験のしたことのない話です。病院の中での「当たり前」は全く通用しない、そこを知らないのです。医療者ですら、なかなか受け止めることができません。

だから、それ以外の仕事についている人にとって、自分の範疇には全くないことで理解を超えている話には、勝手に耳を塞ぎ、右から左へ聞き流してしまいます。いわゆる「無理」、「わからない」、「知らない」で済ませてしまう。

残念ながら、それでは助かりません。

災害や医療の現場では、病院内の仕事で基準として持っている感覚、例えば「清潔」、「不潔」と言う観念は手放さなければなりません。

命を救うためにオペをする＝滅菌エリアでオペをする。清潔区域を作る、清潔なものを使ってケアをする。これは病院の中では当たり前のことです。しかし、被災地では命を守るために1分1秒争う事態であれ

ば、その場でできる限りの除菌エリアを作り、その場でオペをします。開胸、開腹することだってあります。

そんな話をすると、病院内勤務しかしたことのない医療者は驚きを隠せません。受け止めることもなかなかできません。

「自分の中の当たり前が邪魔をする」のです。

自分の常識を改めて疑え！人からもらった情報や観念も一度疑え！私はよくこの言葉を人に言います。

一度「当たり前」を疑い、客観的にあらゆる角度で検討し直す。すると、自分の常識が全てでは無い事。他人にとっての常識は、自分にとっての非常識、その反対も有き。

何事も当たり前ではないことを知れば、本当にその伝え方で相手には伝わるのか？そのやり方で助かるのか？と、気づくことができるのです。

人は自分の経験則でしか物事が見れません。そして、判断もできません。本当はちっちゃなちっちゃな世界で生きているのに、あたかも自分の常識が、みんなにとっての常識だと思い込んでしまうのです。

先日、関西の海沿い、その上盆地になっているエリアで、生き抜くためのサバイバル講座を開催しました。残念ながら参加する人は非常に少なく、参加していた人も、どこかしら他人事のような雰囲気でした。

講座終了後、感想を聞いてみると、「そこまでしなくていいんじゃないか?」、「そこまで考えてたら何もできない」と言われました。

何よりも1番びっくりしたのは、「今までないのだから、これからもないです」と言っている人が本当に多かった!!

「どの被災地だって、今までなかったんですよ」そう言っても、やはりなかなか自分事には思えないようです。

《当たり前》の反対は《ありがたき》

ありがたきが転じて有り難い、つまり、有る事が難しいから意味があるのです。

私たちが知っている事や判断基準技術は、一般の方々にとっては全く知らない世界の話です。相手に伝わる為には、自分の常識をいちど外してみること、相手の立場まで自分が歩み寄る事が必要だと思います。



新年明けましておめでとうございます。

新年号では、この時期に多い「インフルエンザ」についての事例をご紹介します。

これらは、昨年1月頃に救急安心センターおおさかに寄せられた事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出場しました。



【事例1】

85歳男性：昨日から発熱があり、本日より動けなくなった。
⇒インフルエンザ

【事例2】

3歳男児：自宅にて、突然3分ほどのけいれんが生じた。
⇒インフルエンザA型・熱性けいれん

【事例3】

76歳女性：今朝から喉の痛みを訴え、倦怠感を伴った。
⇒インフルエンザ

～救急安心センターおおさか から～



「小児救急支援アプリ」もご利用ください。
大切なお子さんが突然の病気やケガの時、
その症状から「緊急性」を判断し、近くの医
療機関（大阪府内）をご案内することができ
るスマートフォン専用アプリです。

「小児救急支援アプリ」で検索してください。

小児救急支援



大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
11月中合計	1	2	15	51	69	8	0	0	8	85
平成29年11月末累計	12	23	141	421	597	57	2	1	172	829
平成28年11月末累計	22	17	148	364	551	60	0	3	151	765
累計比較	▲10	6	▲7	57	46	▲3	2	▲2	21	64

◎救急概況

	救急出場
11月件数（概数）	18,337
平成29年11月末累計	208,018
平成28年11月末累計	205,154
累計比較	2,864

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成29年11月末累計	2,787	1,085	7	1,133
平成28年11月末累計	2,841	1,017	9	1,140
累計比較	▲54	68	▲2	▲7

アセチレン容器から火災発生！

はじめに

今回紹介する事案は、N消防署管内で発生したアセチレン容器に係る災害事案を振り返り、今後の活動の留意事項を紹介していく。



災害概況

- 覚知時刻 3時2分
- 作業開始時刻 3時8分
- 作業終了時刻 7時27分
- 死傷者 なし

COMMAND
EYE

南方面隊

活動内容

平成29年7月某日、人々が寝静まる時間帯にその災害は発生した。

「火災指令 屋外火災 軌道上においてアセチレン容器から出火」

消火任務として出場したK消防隊はホース延長を行いながら軌道上へ進入すると、4本連結しているアセチレン容器のうち、3本のアセチレン容器から炎が上がつている状態（写真1）を確認した。N小隊長は隊員に対し、「ボンベから出ている炎には水を掛けるな。ボンベ本体に冷却放水実施。ボンベを倒したら他に延焼したり、爆発する恐れがあるから、倒さないように放水しろ」と指示した。指示を受けた隊員はアセチレン容器を転倒させないよう、細心の注意を払いながらボンベ本体に冷却放水を行った。

指揮者として現場に後着したM中隊長は現場の状況を確認し、過去の経験からアセチレンガスの噴出を止めるために容器の安全弁を木栓で塞ぐ必要性があると判断したが、対応にあたっていた

N救助隊は木栓を保有しておらず、過去に乗車経験のあるCR隊が木栓を保有していたことを思い出して指令情報センターへCR隊を要請した。到着したCR隊に対し現在の状況を説明後、「炎が小さくなったところで安全弁に木栓を打ちこめ。その際、火花を発生させないよう木製のハンマーで行うこと」と指示した。CR隊はM中隊長の指示の通り、ガスの圧力の低下に伴い炎が小さくなったところで木栓を打ち込んで安全弁を塞ぎ（写真2）バルブの閉栓を行って鎮火させた。その後危険性がないとの判断により現地から要請していた取扱業者に容器を引き継ぎ活動は終了した。

災害発生原因

この災害は、軌道上でレールの溶断作業に使用していたアセチレン容器を収容する際に、容器から作業用ホースを離脱した時、バルブが開放状態であったため漏えいしたアセチレンガスに他の作業で発生した火花が着火したものの。

一般的な留意事項

●アセチレンガスは燃焼範囲が広く（2.5～100V_o%）、静電気等の微小な火源で容易に着火し、酸素が無くても燃焼を継続する。また転倒などの衝撃により爆発する恐れのある非常に危険なガスであるため、活動には十分に留意する必要がある。空気よりも軽い比重（0.9073）で



（写真1）



（写真2）

あるが、漏えいしたガスは条件によっては付近に滞留する可能性もある。ガスが漏えいしていると木製のハンマーを使用する。●噴炎時の木栓を打ち込む時期は、内圧が下がり、炎が小さくなった時点で行う。

本件活動のポイント

●アセチレン容器の冷却
N小隊長はアセチレン容器から炎が出ている状況であったが、その炎を消すことによりアセチレンガスが付近に滞留して爆発する恐れがあることや、容器が熱せられることによる爆発の危険性を理解したうえで容器本体の冷却放水を行った。また容器を転倒させてしまうと、他に延焼させたり、アセチレン容器の爆発も

考えられるため、ガントイプノズルのハンドルを全開にせず低圧により冷却放水を行わせた。
●早期の資器材（木栓）の搬送要請

M中隊長は過去の経験上、現場の状況から木栓の必要性を判断し、木栓を保有するCR隊を早期に要請している。また到着したCR隊に対しても木栓の打ち込む時期、火花などの微小火源でも引火、爆発する恐れがあるため、他に触れても火花が発生しない木製のハンマーを使用させるなどの二次災害を防止する指示を具体的に行っていた。

おわりに

今回発生したアセチレンに係る容器火災は、決して発生件数は多いとは言えないが、活動したM中隊長をはじめ各小隊長は、過去の経験や自分たちの持っている資器材・知識をフルに活用し、二次災害を発生させることなく事案を収束させている。経験豊富な者はその知識を若い隊員に伝え、若い隊員は日頃から研鑽して発生し得る災害に冷静に対応できるように備えておく必要があるだろう。

（文責 神村）

調査 鑑識

予 防 部 予 防 課

平成28年中に発生した火災において、カセットボンベ・スプレー缶に起因する火災が19件発生している。カセットボンベやスプレー缶は便利な反面、取り扱いを誤ると火災に至る危険性がある。今回は、身近な製品であるカセットボンベ・スプレー缶の火災事例について紹介する。

今回のテーマ

カセットボンベ・スプレー缶に起因した火災について

はじめに

新年を迎え、正月休みを利用して親戚や仲間が集まる機会が増えることであろう。昨今は、カセットこんろを使用して手軽に温まることのできる鍋料理に舌鼓を打つこともあるのではないだろうか。そのような状況の中、お馴染みのカセットボンベは、非常に多くの家庭で使用されている。

また、スプレー缶製品（エアゾール製品）にあっても、塗料、殺虫剤、ヘアスプレー、制汗消臭剤など日常生活の様々なところで使用されている。

今回は、それらの取り扱いにより発生した火災について紹介する。

カセットボンベについて

カセットボンベの規格は、日本工業規格(JIS S2148)に規定されるカセットこんろの使用に適合するよう同規格(JIS S2148)で「カセットこんろ用燃料容器」として規定されている。

構造は、容器本体（ぶりき又はこれと同等以上の耐食性をもつ金属材料）、その上部のフランジ、容器バルブからなる。容器の中には、液化ガス（主にブタン（ノルマルブタン）が充てんされており、液相（液体の部分）と気相（蒸発した気体の部分）に別れている。カセットボンベを機器に装着すると、容器バルブのステムが押され、容器内のし字の管を介して気化したガスを放出す

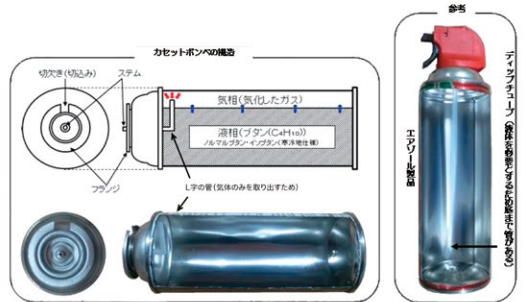


種類	化学式	沸点(°C) (大気圧下)	カセットボンベでの使用例
ブタン(ノルマルブタン)	C_4H_{10}	-0.5	カセットボンベの一般的なガス
イソブタン	C_4H_{10}	-11.7	ハイパワー(寒冷地用)のガス
プロパン	C_3H_8	-42.1	イソブタンと混合するガス(5%まで)

る状態となる。

充填されるガスの種別では、ブタン、イソブタン、プロパンがある。ハイパワー用として、沸点の低いイソブタンやプロパン、これらの混合ガスを使用しているものもある。

寒冷地以外の量販店などで販売されている一般的なカセットボンベは、沸点が 0.5°C と低い。ため常温で気化するブタンである。ブタンは、周囲の温度が下がるにつれて気化する速さが遅くなり、沸点に近づくとき気化しなくなるため、気温の低い場所用に寒冷地用やハイパワーと記載されている沸点のより低いガスを燃料としたカセットボンベがある。また、これらの低沸点ガスは蒸気圧がブタンより高く、常温では噴き出すガスの量が増



火災事例

えて早くなくなる。

○台所において、使用済みのカセットボンベのガスを抜くため、換気扇のスイッチを入れた。ボンベを振っても音がしなかった。完全に使い切ったと思い、外に出なくても換気扇の下であれば大丈夫だろうと作業を始めたが、穴をあけてみると「シューッ」という音とともに思った以上にガスが噴出し、すぐ下でお湯を沸かしていたガスステープルの火に引火して火災になった。

○居室において、家を片付けた後、最後の仕上げに部屋中に消臭スプレーを噴射し、ひと仕事を終えたので一服しようとした。こにライターで火を点けようとした瞬間、部屋中が爆発的に燃えて火災になった。

○共同住宅の台所で、カセットこんろで大きなフライパンを熱していたところ、装着していたカセットボンベの上までフライパンが覆っていたため輻射熱で過熱され破裂し、カセットボンベのガスにこんろの火が引火して、床や壁、電化製品などを焼き、玄関扉や窓ガラスが破損した。

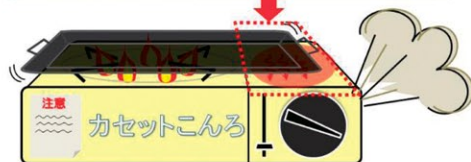
カセットボンベやスプレー缶の残量は缶を振って確かめるが、音が無く使い切ったと思っても、少なくともボンベと同じ体積のガスは缶の中に残っている。また、ボンベに穴を開けると中のガスは空気より重いので下方に流れるため、換気扇の効果は

○飲食店の厨房で、調理のためガスこんろを使用していたところ、こんろのそばにカセットボンベが置かれていたためにガスこんろの熱を受けてボンベが破裂し、ボンベ内のガスに引火して雑品を焼き、ガラス扉などが割れた。

火災になるまで



カセットボンベの上まで鉄板やフライパンなどを置いて調理すると、ボンベに熱が伝わり破裂して、中のガスにこんろの火が引火して火災になります！



限られ、その下で火気を使っていればガスに引火し、爆発を伴うなどとても危険である。また、カセットボンベやスプレー缶の中には「火気厳禁」「高温に注意」など注意書きされたものがある。これらは噴射用に可燃性ガスを使用しており、このガスに火気を近づけると燃え出し、場合によっては爆発に至る。特に部屋や車などの限られた空間で多量に噴射した時は非常に危険である。消臭スプレーの他にも殺虫剤や冷却スプレーなど多くのスプレー缶で可燃性ガスが使われているので、噴射したガスが充満した場所では絶対に火気を使用しないよう注意喚起が必要である。また、ボン

おわりに

べの周りの温度が上がれば、ボンベ内の圧力がどんどん上がって、最後には破裂してしまうおそれもあり、ボンベが破裂すれば、当然中のガスが放出されて約250倍に膨れ上がり、火種があれば引火して火災となる。

カセットボンベやスプレー缶は非常に便利で身近な製品であるが、取り扱いを誤ると火災に至る危険は十分にある。日常でついついしてしまいがちな行為が、実は火災に繋がる恐れがあることをしっかりと認識することが大切である。火災に至る危険があることを認識し、空気の流通する屋外でガス抜きすること、また、火気の周りでガス抜きや可燃性ガスの入ったスプレー缶を噴射しない、カセットボンベやスプレー缶を置かないなど、広く広報する必要がある。

【参考】
大阪市では、これまでスプレー缶・カセットボンベ類をごみとして出すとき、市民に対して穴あけをお願いしていましたが、火災や事故を防止するため、平成29年4月24日から、必ず中身を使い切って、穴をあけずに「資源ごみ」の日に「資源ごみ」とは別の袋で排出していただくことになっております。

(文責 竹田)

大阪市にお住まいの皆様へ

平成29年4月24日(月曜日)から!

スプレー缶・カセットボンベ類の出し方が変わります!!

火災や事故を防止するため、次の手順でお出しください、皆様のご協力をお願いします。

- ①必ず中身を使いきって、
- ②穴をあけずに
透明または半透明の袋に入れて、
- ③「資源ごみ」の収集日に
「資源ごみ」として別にお出ください。

※塗料スプレー(ラッカー等)については、中身を使い切り、穴をあけず「普通ごみ」の収集日にお願いします。

大阪市環境局

お住まいの地域	最寄りの環境事業センター	電話番号
北区・船場区	北区環境事業センター	6351-4000
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6323-3511
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6313-3550
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6477-1521
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6714-6411
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6567-0750
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6552-0901
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6751-9311
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6605-1271
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6661-5450
東淀川区・東淀川区	東淀川環境事業センター	6700-1750

このような過去の事例の調査結果で得た知識を市民にフィードバックして頂きたいと思う。今後も同様に火災事例を発信していくので、執務の参考とし、今後の火災予防に繋げて頂きたい。

方面隊のあゆみ(4)

大火をひも解く

司令課

先月号では「個室ビデオ店火災」の火災概要と発生状況を紹介したが、今月号では当時の課題と対応策を整理し本火災から「学ぶべきこと」を再度考えていきたい。

まずは各環境下における活動リスクと各リスクが変化した場合の対策や各情報からの関連項目を検討する。

現場環境とリスク

【発生状況】

発生日時

10月1日(水) 2時59分

気象 気温19℃ 小雨

深夜帯(熟睡)

平日(周辺滞在人口)

リスク低

リスク高

リスク低

発生状況からは気温変化(厳寒期や猛暑期)による負傷者や活動隊管理体制が必要となる。

また曜日や時間帯からは繁華街周辺の雑踏整理(活動区域等確

保)、週末利用者の増加予測などの対策も必要となる。

【建物環境】

RC7階複合用途ビル
出火階1階

リスク低

リスク低

リスク高

上階用途は事務所

建物外郭は異形

建物環境から上層階や地階で出火した場合の活動拠点確保や進入導線の対策が必要である。

さらに上階用途により、要救助者の増加が予測される。また建物外郭が異形な場合は外周部確認と内部区画情報との整合性に時間を要する。

【用途業態環境】
令別表(二)項二

(建物は十六項イ)

個室ビデオ試写室

(個室形態店舗)

小区画個室、多区画

各室扉施錠可能(外開き)

利用客は主に男性

ヘッドフォン利用

通路が狭い(物品配置陳列等)

受付、入室管理有

用途業態からは活動リスクの高い要因が多い。本火災の個室数は32室であるが、ネットカフェなどでは室数100を超え

る店舗も存在する。さらに半個室タイプ(間仕切壁が天井まで到達していない)やカラオケボックスなどの完全防音タイプなど個室仕様にも違いがある。

利用者についても業態により年齢や性別、外国人観光客等多様である。

これらの項目やリスク変化に対応するためには、いかに多くのイメージを持てるか?が重要である。日常業務から常に情報や活動のポイントを意識し、ア

ンテナを張ることで「気付き」を増やし臨機で柔軟な活動ができるよう備えなければならない。

各活動時の課題と対策

要領

狭隘廊下や小区画多区画検査

要領

要領

要領

要領

要領

検索場所によって検索救助

1, 2法を使い分ける基準を定めることが検索漏れをなくする方法である。検索体形は縦列検索

で先頭隊員が赤外線カメラを携帯する。ただし濃煙や区画内高温時、さらに援護注水による映像状態等を把握しておくことも必要である。また検索救助2法の伝令員を配置することでホースやロープ整理、消火隊及び後着隊への情報伝達が効率的に実施できる。

検索ロープは進入距離が概ね把握できるよう表示し(蛍光テープ等)ロープの色分けにより容易に進入隊が管理できる。

また検索棒(小とび等)の活用は非常に効果的であり隊員の活動時間を有効に活用できる。

マーキングについては表示方法とケミカルライト等の使用基準の統一(黄色は視認もよい)など先着隊等の行動起点を表示することが重要である。

○濃煙熱気内検索・消火隊連携要領

消火救助の同時進行が重要となり、先頭隊員の放水(火勢制圧)と先頭隊員用援護注水の2口が原則となる。また進入距離がある場合はホース延長と増結要領(狭所巻等の配置)がポイントとなる。必要に応じ大量放

水（タレット）による拠点放水も考慮すること。ガントリーノズルは機動性に優れているがホースの折れ等により十分な水量を確保できない場合がある。延長経路は考慮する。また隊間の合図や連絡方法を決定することも重要である。

○多数救助要領

先着隊グループの活動情報と関係者情報を積極的に共有することがポイントである。活動初期は単独隊の動きになるが、引継ぎの徹底を行うとともに活動拠点形成を進める。各情報については必ず図面等に落とし込み伝達員や連絡員を配置し情報共有を徹底する。検索班や救出班などの任務分担や隊及び呼吸器本体の集結を考慮する。

○排煙排熱要領

火勢を制圧できる消火水と排出口作成が原則である。建物外周部と内装材の確認を行い、開口部作成の可否を判断する。間仕切壁等は大半がアルミ鋼材と石膏ボードであり消防隊保有破壊器具で十分に戦える。また破壊困難な場合は進入側へ引き込む対応も考慮する。

○救出と現場保存

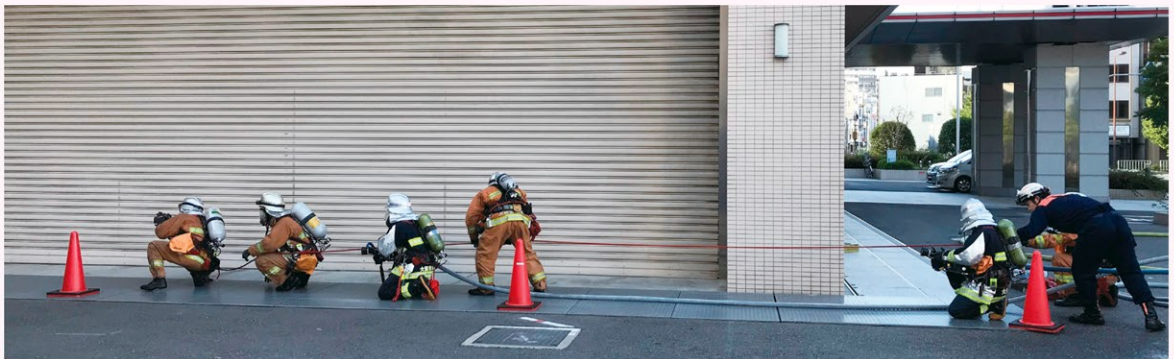
49マル発見と14マル発見の判断である。当時、火災現場で警察機関との協議が実施されたが



援護注水体制 狭所巻で充水する(折れ防止)



ホース管理を配置すること



縦列検索・援護注水(前方・後方2口確保)

消防側は全救出で活動が展開された。14マルの場合は現場保存が原則である。ここでの注意点が「生存」を前提に発見場所や時間、位置関係、体位、反応の有無などを確認把握し早期に記録しておくこと。

以上、当時の検討会等で議論された主な活動課題である。今一度振り返っていただきたい。

おわりに

本火災で消防活動を阻んだ要因は濃煙熱気・狹隘廊下・多数要救助などが多々挙げられるが我々が考えるべき本来の課題とは「共有と連携」ではないか。当時の各種課題に対し、どのような「共有と連携」が必要であり、活動基準等事前対策や訓練を検討し積み上げていくことが重要である。

濃煙熱気と内部情報不足の中で視覚的情報に頼ることなく活動不安を払拭すべき情報を収集整理し、各隊が効果的に運用共有する連携こそが本火災の教訓として我々が構築し引き継がないければならないものではないか。今一度、本火災環境での訓練と基本行動の共通認識を高め暗黒の恐怖を克服しなければならぬ。

(文責 松前)

大阪市防火管理協会からのお知らせ

販売図書のご案内

安全の手引き

IN CASE OF EMERGENCY...

안전 수칙

安全手冊

IN EINEM NOTFALL

EN CASO DE EMERGENCIA...

EN CAS D'URGENCE...

この手引きは非常時の説明書です。
保安体制には万全を期しておりますが念のためご覧くださいようお願い申し上げます。

This is a guide for safety in case of emergency.
While we have taken all necessary measures to ensure your safety, please read these instructions as an extra precaution.

이 안전 수칙은 비상시의 지침서입니다.
보안체제에는 만전을 기하고 있습니다만 만일을 위해 읽어주시기 바랍니다.

本手引きは火災発生時の避難方法説明書、我们的安全設備施設が万全、
但万全を期す、諸君及関係者へ手引き。

Dies ist eine Sicherheitsanleitung für einen Notfall.
Wir haben perfekte Schutz- und Sicherheitssysteme, doch sollten Sie diese Sicherheitsanweisung trotzdem lesen.

Esta es una guía para seguridad en caso de emergencia.
Hemos realizado para perfeccionar nuestros sistemas de seguridad, pero, por favor, lea estas instrucciones para precaución.

Ceci est un guide de sécurité pour les cas d'urgence.
Bien que nous ayons des systèmes de sécurité perfectionnés, nous vous prions de lire attentivement ces instructions.

監修 大阪市消防局
発行 一般社団法人 大阪市防火管理協会
Superintendent Osaka Municipal Fire Department
Issuance Osaka Fire Safety Management Association

【内容】

- ホテル、旅館の宿泊客が、「火災が発生したとき」など緊急時に取る行動を7か国語（日本語、英語、韓国語、中国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語）で解説しています。
- 紙面の両面をPP（ポリプロピレン）加工しているため、光沢があり汚れにくく、客室などに常備できます。
- 宿泊客を火災や地震などから守るための小冊子です。

A4判 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

安全の手引き

お問い合わせ・お申し込み先

（一社）大阪市防火管理協会

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11

TEL:06-6741-2130 FAX:06-6712-2130

SCHEDULE

防火・防災管理講習日程表

甲種防火管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00～16:00

回数	開催日
第40回	平成30年 2月17日(土)、18日(日)
第41回	平成30年 2月22日(木)、23日(金)
第42回	平成30年 2月27日(火)、28日(水)

甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：10:00～12:00

回数	開催日
第11回	平成30年 2月24日(土)

乙種防火管理講習

講習会場：大阪市消防局生野分室

講習時間：10:00～16:00

回数	開催日
第3回	平成30年 2月 7日(水)

防災管理新規講習

講習会場：大阪市消防局生野分室

講習時間：10:00～15:30

回数	開催日
第18回	平成30年 2月16日(金)

防火・防災管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00～17:00

回数	開催日
第27回	平成30年 2月13日(火)、14日(水)
第28回	平成30年 2月20日(火)、21日(水)

防火・防災管理再講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：14:00～17:00

回数	開催日
第11回	平成30年 2月 4日(日)

環状線

大阪各署のホットニュースをお届けします



中央・浪速

CHUO・NANIWA

No border — つながる想い — ～浪速・中央合同 なんさん通り商店街消防訓練～

大阪ミナミの中心地、大阪タカシマヤの北東から中央区と浪速区の境目をなぞるように伸びる「なんさん通り商店街」。昭和25年の発足以来、バラエティーに富んだ業種の店舗が連なり、ミナミの歴史を見つめながら発展してきました。

そんな商店街の会員の方たちが10月26日、晴れ渡る青空の下、消防訓練を実施されました。

訓練には商店街の33事業所と、浪速、中央の署員が参加しました。

水消火器による消火訓練の後、搬送訓練として毛布担架の作成を実施。物干し竿と毛布であっという間に担架が出来上がる様子を見て、参加者からは「大人が乗っても大丈夫な担架が、こんなに身近なもので

できるんですね」と驚きの声が上がった。

その後の防火講座でも参加者は熱心に聞き入り、自分たちの商店街は自分たちで守るという気合を感じた訓練となった。

通常、消防訓練は管轄の消防署が単独で指導するが、今回は商店街が二つの行政区にまたがっており、両署の署員が参加しての実施となった。

署員にとっても、他署の訓練指導方法を見て、普段の自分たちとは違う説明方法などを学習できる貴重な機会となった。

今回の訓練のように、事業所も消防も、行政区をまたいでも変わらずつながる防火への想いが大阪の街を守るのだと改めて感じた一日であった。(川勝)



福島

FUKUSHIMA

秋の合同訓練

10月31日、火災予防運動行事の一環として、凸版印刷(株)西日本海老江事業本部と当署との合同訓練を実施しました。自衛消防隊長以下社員400名と当署19名による大規模な訓練となりました。

訓練は自衛消防隊の初期活動を軸に、消防隊へ引き継ぐまでの一連の計画に沿った訓練を実施していただいた。

災害が多発するこの時期、一丸となって取り組めた今回の訓練を通じて、身を引き締めて年末年始を迎えたい。(井上)



北

KITA

北区みんなの健康まつり

10月28日、北区民センターで「北区みんなの健康まつり」が開催されました。台風接近の影響により、ぐずついた天気にもかかわらず、700余名の方が来場されました。

当署のコーナーでは、予防救急をメインテーマにデジタル紙芝居を上映し、多くの親子連れの方にご覧いただき、参加者のみなさまに予防救急への関心を高めていただくとともに、AEDや胸骨圧迫の体験もしてもらって、救命処置にも高い関心を持っていただけた。(内山)



此花

KONOHANA

此花区女性防火クラブ施設見学研修会開催!

10月17日、此花区女性防火クラブ施設見学研修会を開催しました。各連合振興町会から36名の方々が参加され、大阪市消防局指令情報センター、朝日新聞社「朝日プリンテック堺工場」の2施設での研修会を行いました。各施設とも、非常に興味深く熱心に見学いただきました。

今後とも「安全で安心できるまちづくり」に御協力・お力添えをお願い致します。(田中)



都島

MIYAKOJIMA

火災予防運動実施中?

11月5日、秋の火災予防運動を前に京橋駅前広場において、119番通報訓練、消火訓練、煙ハウス体験など実践型の訓練を実施しました。京橋はJR環状線、地下鉄、京阪電車が乗り入れる大阪の東玄関口として飲食店、大型物品販売店舗、ホテルなど多種多様な建物が密集し賑わっている地域で、今回の訓練は商店街組合の発案により実施されたものです。

これからも火災予防により一層のご協力をお願いします。(山本)



大正

TAISHO

祝！ 新成人！

1月8日、わが署の若手のホープがめでたく成人の日を迎える。1部大正ST小隊で活躍する武藤桂穂消防士だ。成人式で酒に酔って大騒ぎし、新聞紙面に取り上げられる新成人もいるなか、対極にいるような真面目で前向きな消防士である。

武藤消防士は「新成人となり、より責任を

持って仕事に取り組みたい。災害現場で、一人でも多くの人を助きたい！」と抱負を語ってくれた。今後の活躍に期待したい。(貝谷)



西

NISHI

意見体験談 最優秀

11月3日文化の日。晴天の中、阿倍野防災センターにおいて、防火・防災管理に関する体験談の表彰式が開催されました。数ある応募作品の中から、西管内事業所、イオンモール株式会社関係者の方が応募された「究極の地域防災への歩み」が最優秀に選出されました。

平和な日常が一番であるが、いざ、災害が発生した場合に対する「危機管理」と「そなえ」に対する思いを強く感じた。(高内)



天王寺

TENNOJI

新年、訓練の幕開け

写真を見ていただければわかるとおり、この5人の男たちの目は、熱く燃えている!!

昨年の救助技術練成会において、当署から「引揚げ救助」と「ロープブリッジ救出」の2種目で本年開催される近畿地区指導会の出場を手にしたこの男たちは、年明けから始まる強化訓練で更に飛躍し、近畿地区指導会を勝ち抜き、京都で開催される全国大会で頂点をとることを、5人全員で誓いあった。(北田)



港

MINATO

「みなと消防フェスタ」開催

11月11日、「みなと消防フェスタ」(消防署開放デー)を開催した。救助隊による高所からの救出救助訓練に始まり、地震体験や煙中体験、防火図画展など色々なコーナーを設け、家族連れなど500人を超える方々が来署されました。

ジュニア・レスキューチャレンジでは、参加したちびっ子たちに「ファイト!頑張れ!」と声をかける署員たち。頑張るちびっ子たちについて笑顔がこぼれ、癒される1日となりました。(松井)



東淀川

HIGASHIYODOGAWA

幼稚園に雷光現着!!

10月23日から10月31日の間、幼児防火防災学習を行った。避難訓練の後、園児たちに紙芝居「おしえてセイバーミライ(とってもこわいかじ)」を披露した。職員は慣れないことに加え、他署に先立って披露するプレッシャーで緊張していたが、場慣れた中盤以降は感情を込めて演じていた。その甲斐あって、ほとんどの園で予定時間を超過し、大盛況のうちに終了した。悪の秘密結社「ホノオ」と戦うシーンに真剣な眼差しを向ける園児たちを見てると、大阪の将来は安泰であると強く思った。(山城)



西淀川

NISHIYODOGAWA

ハッピーBOX!!

署員の功労や職場の明るい話題を情報提供するために「ハッピーBOX」を設置した。既に設置している「提案BOX」とは少し趣が違い、「職員をホメてホメてホメ倒そう!!」を目的にしています。

早速、合同訓練での規律ある行動を地域の方々に絶賛された小隊を褒める投稿があり、早速署内に掲示しました。

「ハッピーBOX」にどしどし投稿してもらい、より一層「風通しのよい職場」づくりを目指します。(坂本)



東成

HIGASHINARI

東成消防署フレンドシップデー

11月3日、当署において「東成消防署フレンドシップデー」を開催。北中道和太鼓クラブ「飛童」、相生中学校吹奏楽部による力強い演奏でオープニングを盛り上げていただき、また、好天にも恵まれ多くの方々に来署いただきました。消火・救助・はしご車・起震車体験など、どのコーナーも満員御礼。ふれあいを通じて火災予防啓発を行い、笑顔あふれる消防署開放デーとなりました。(黒島)



淀川

YODOGAWA

淀川自衛消防技術発表会

11月15日、当署において平成29年度淀川自衛消防技術発表会を開催し、区内の24事業所から延べ84名の自衛消防隊員が出場されました。

「消火・119通報操法」、「屋内消火栓操法」及び「消防ポンプ操法」の3競技で行われ、各隊とも日頃の訓練成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい操法が繰り広げられました。

各隊が来年の再会と練度の向上を誓いあい、活気あふれる発表会になりました。(舟坂)



城 東

JOTO

レスキューパンダたすける参上!!

10月7日、城東区民ホールにて“第16回わくわく子育てフェスティバル”が開催され、「レスキューパンダたすける」が参加した。

オープニングセレモニーでは、城東区のマスコットキャラクター「コスモちゃん」(写真左)と、大阪市城東区社会福祉協議会【ゆうゆう】のマスコットキャラクター「じょーたん」(写真右)とダンスを踊り、地域とのつながりの中で交流を深め、火災予防普及啓発及び防災意識の高揚を図った。(重松)



生 野

IKUNO

生野区全域一斉パトロール

10月19日の夜、区民と行政機関等が一丸となって、生野区全域一斉パトロールが実施された。防犯意識の高揚を目的とし、地域振興会を中心に、224町会、約4000人の区民をはじめ、区役所、警察、消防等も参加する大規模なパトロールとなり、当署は、消防車による巡回警戒を行った。「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、区民と行政が一体となったパトロールは、防犯意識の高揚のみならず防火意識も高め、放火抑止に繋がると期待される。(藤田)



鶴 見

TSURUMI

「はなまる活動表彰制度」エントリー!

当署では“ガンタイプノズルによるスプレー放水能力”向上のため、従来の標的を一新し新型標的を開発した。署内警防技術錬成会をはじめ、実験を重ねた結果、より火災現場に必要なスプレー放水の要領を掴むことができた。それらの結果を踏まえ、開発に携わった本署2部警防担当が、消防局職場活性化推進事例発表会で最優秀賞を受賞し、平成29年度はなまる活動表彰制度にエントリーすることとなった。(植田)



旭

ASAHI

先生も頑張った運動会

運動会シーズン10月、市立高殿南小学校へ孫の運動会を見に来ていた男性が突然倒れ、藤本教頭と岡崎教諭が緊迫した状況の中、救急隊到着までの間慌てることなくお互いに協力してAEDを使い、電気ショックと胸骨圧迫を続けられた結果、救急隊への引き継ぎ時には心拍が再開。先日この活動に対して署長から2人の先生に感謝状を贈呈しました。

男性は順調に回復しており、きっと来年の運動会には元気な姿で孫の応援をされているだろう。(川畑)



住吉

SUMIYOSHI

親子3人で消防士に!

10月28日、沢之町運動場において、第43回すみよし区民まつりが開催された。消防コーナーを設け、現場服装体験、地震体験、消防車との記念撮影、可搬式ポンプの展示等で啓発活動を行った。写真は、親子3人で現場服装を体験し、記念撮影されている風景。「この服めっちゃ暑い! ボンベめっちゃ重い!」と驚きながらも、お子様に「パパかっこいい!」と褒められ、とても嬉しそうなお父さんの顔が印象的であった。(辻本)



阿倍野

ABENO

さすが自消協会員!

管内の路上で、78歳男性が突然心肺停止に。通報を受けて駆けつけた自衛消防協議会員である2名の警備員さんが、AEDによる電気ショックと心肺蘇生法を救急隊に引き継ぐまで実施された結果、心拍と自発呼吸が回復して病院搬送後、軽快退院された。協議会員として培われた応急手当が、確実な救命リレーの素晴らしい結果につながった。この成果に、当署で開催された自衛消防協議会において署長から感謝状と記念品の贈呈を行った。(村井)



東住吉

HIGASHISUMIYOSHI

体験型防災研修会を終えて

防火管理協会東住吉支部並びに各協議会関係事業所を対象として、「体験型防災研修会」に、37名の参加がありました。従業員が火災又は災害等に遭遇した際に、的確に判断し行動する技術や知識を身につけてもらい、防火・防災管理体制のさらなる充実を目的に行いました。粉末消火器の噴射や天ぷら油火災の消火方法体験、煙中体験を行うなかで参加者は自分たちの事業所は自分たちで守るという意識を再確認される訓練となりました。(岡)



住之江

SUMINOE

救助技術練成会終了、さらに前進!!

11月2日に当署1部の若手を中心とした19名が、練成会終了に伴い心身とものリフレッシュを計画して、本署に全員リュック持参で集合した。理由を聞くとナント! 箕面まで走って行くという。当署から箕面温泉まで、約27kmをひたすら北上、平均時間4時間30分で全員完走。「箕面温泉への旅」はリフレッシュはもとより、署員一丸となり職務に取り組んでいくことを誓い合う場となった。この熱い気持ちを持って2018年も「行くぞ住之江!」(清水)



水上

SUIJO

水上Fire StationわくわくOpen Festival

秋晴れの爽やかな日差しを受けて、2隻の消防艇による色鮮やかな放水と消防ヘリの紹介、見学者の歓声を計画段階では思い描いていたが…

現実には台風22号による雨が降る中、規模を縮小し開催する事となった。

しかし、水上消防署開放Dayに来署された方々は、普段体験できない、まいしま、ゆうなぎに乗船して頂いた。また、子供たちは、セイバーミライとの写真撮影、エアー遊具、バッテリーカー走行体験、消防服試着体験等、消防署を満喫できる1日になり、防災意識を高めて頂いたに違いない。(東本)



平野

HIRANO

消防士の仕事を体験

10月下旬の2日間、管内の中学2年生9名が当署へ職場体験にやってきました。

現場外套を着装しての放水訓練と救助訓練を行い、消防がどのような仕事を行っているかを体験してもらった。その後、阿倍野防災センターで防災に対する知識と技術を総合的に学習してもらった。

今回の体験で、消防の仕事に関心を持ち将来の防火防災の担い手になってくれることを期待している。(増田)



西成

NISHINARI

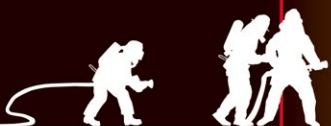
防ぐ・守る・救う

秋の火災予防運動に伴い、防火防災意識の向上と周知徹底を図るために本署ガレージ北側の時計台横のスペースを活用して約3メートル×3メートルの大型の広報幕を作成した。

国道26号線に面し天下茶屋駅、岸里駅への通過位置でもある為、沢山の方々が消防署の前を往來します。

カラフルな色彩で「防ぐ・守る・救う」を大々的に掲げ安全・安心なまちづくりを市民にアピールしている。(高田)





摂津市消防本部

地域の方とともに！ ～自主防災訓練を 行っています～



摂津市では、例年10月から3月にかけて、市内12地区において自主防災訓練が実施されており、消防本部・消防団・婦人防火クラブも訓練指導などを行っています。

消防の担当としては、119番通報訓練装置を用いた通報訓練、煙体験ハウスを用いた避難訓練、水消火器を用いた消火訓練、AEDトレーニングを用いたCPR訓練、救急車の適正利用啓発、住宅用火災警報器設置啓発等があります。

最近では、特異な火災原因の紹介及びその対処法についての説明や、地域の方の希望で軽可搬ポンプ等の放水体験も加わり、また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年を経過する時期であるため警報器の取替えなど維持管理の啓発を行っています。

自主防災訓練は、消防団の方々が防災資器材の取扱説明や放水体験を主に担当され、婦人防火クラブの方々は炊き出し訓練等を担当されるなど、防災を担う身近な者と地域の皆さんの顔が見える関係が築かれる良い機会となっています。

交野市消防本部

女性消防団と連携して 防火をアピール ～「おりひめ安全教室」～



交野市消防本部では、平成29年11月1日(水)くらやま幼稚園において、定期的に実施している園児・職員を対象とした避難訓練を女性消防団員とともに実施しました。

避難訓練では、館内での出火を想定した避難訓練をはじめとし、訓練用消火器取扱い訓練、消防車との記念撮影、あわせて今回、初めて交野市の七たおりひめ伝説にちなんで「おりひめ安全教室」と名づけた「防火紙芝居」の上演を実施しました。

紙芝居では、「お・は・し・も」と火災の際の守るべき注意点や火災発生時に「できること・やらなければならないこと」など紙芝居を通じてわかりやすく指導しました。

交野市の将来を担っていく子どもたちに、防火や防災について興味を持ってもらうために、消防本部では、消防団とも協力し子どもたちを火災から守るため色々な企画を考えながら、頑張っていく予定です。



河内長野市消防本部

安全運転指導者研修を実施



河内長野市消防本部では、平成29年10月12日(木)、はりま交通研修センターの教官を講師に招き、安全運転指導者研修を実施しました。

この研修では、機関員を指導する立場にある職員を対象として、基本走行のレベルチェック・指導を行うにあたり、管内の一般道路にチェックコースを設定し、中型車での走行による実車チェック指導を受けました。座学では、ドライブレコーダーを使用してフィードバックを実施することで、客観的に運転技能を見直すことが出来ました。

約半日という短い時間の研修でしたが、職員一人ひとりが直接講師から具体的な指導・アドバイスを受けることで、安全意識を見直すきっかけとなり、今後の指導方法の基礎になりました。

本研修は3年前から取り入れており、年間事故件数は減少傾向にあります。今後もあらゆる面から職員の意識向上を図り、消防車両の安全運転に努めてまいります。

泉州南消防組合泉州南広域消防本部

海上保安庁第5管区海上保安本部 機動救難士救急自動車同乗実習を実施



泉州南消防組合市場消防署では、10月3日から10月27日までの間、9名の海上保安庁第5管区海上保安本部の機動救難士の救急自動車同乗実習を実施しました。

この同乗実習は毎年実施されており、海上の救急事案に対応する機動救難士と陸上の救急事案に対応する救急救命士が現場活動を通じて情報交換を行い、海上と陸上における災害対応の連携活動をスムーズに行うための、共通の認識を持つよい機会となっています。実習にいられた機動救難士の方々からは、良い現場経験ができたとのこと意見をいただくとともに、当署の救急救命士も海上での救急事故の活動について知ることができました。

今後もこの同乗実習を継続していき、お互い切磋琢磨して知識、技術の向上及びより一層の連携活動の体制強化を図り、海と陸の安心安全のために努めていきます。

高圧ガス保安法 「貯蔵所」について ～昇任試験対策編～



キセイカ ナビ vol.55

From 予防部規制課



皆さん、こんにちは！今回のテーマは、高圧ガス保安法に規定されている「貯蔵所」についてです。

問題を解きながら、一緒に勉強しましょう！

問題

問 高圧ガス法第16条に規定する「貯蔵所」に関する記述について、() にあてはまる適切な語句を記入してください。

第16条 容積 (①) m^3 (当該ガスが政令で定めるガスの種類に該当するものである場合にあっては、当該政令で定めるガスの (②) に (①) m^3 を超える政令で定める値) 以上の高圧ガスを貯蔵するときは、あらかじめ都道府県知事の (③) を受けて設置する貯蔵所 (以下「(④)」という。) においてしなければならない。ただし、(⑤) が第5条第1項の (⑥) を受けたところに従って高圧ガスを貯蔵するとき、又は液化石油ガス法第6条の液化石油ガス販売事業者が液化石油ガス法第2条第4項の (⑦) 若しくは液化石油ガス法第3条第2項第3号の (⑧) 施設において液化石油ガス法第2条第1項の液化石油ガスを (⑧) するときは、この限りでない。

2 都道府県知事は、前項の許可の申請があった場合において、その (④) の (⑨) が経済産業省令で定める (⑩) に適合すると認めるときは、(⑪) を与えなければならない。

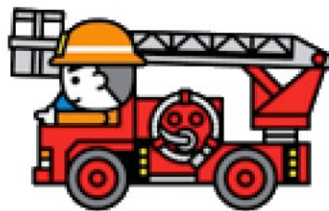
3 第1項の場合において、貯蔵する高圧ガスが (⑫) 又は (⑬) であるときは、(⑭) をもって容積 1m^3 とみなして、同項の規定を適用する。

(※ 本条において、都道府県知事が処理することとされる事務は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(平成27年法律第50号。平成27年6月26日に公布)の制定により、指定都市においては、平成30年4月1日から指定都市の長が処理することになります。)

解答

答え

- ① 300
- ② 種類ごと
- ③ 許可
- ④ 第1種貯蔵所
- ⑤ 第1種製造者
- ⑥ 許可
- ⑦ 供給設備
- ⑧ 貯蔵
- ⑨ 位置、構造及び設備
- ⑩ 技術上の基準
- ⑪ 許可
- ⑫ 液化ガス
- ⑬ 液化ガス及び圧縮ガス
- ⑭ 液化ガス10キログラム



【凡例】 高圧ガス法：高圧ガス保安法

液化石油ガス法：液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律



ご意見・ご質問は予防部規制課まで pa0032@city.osaka.lg.jp

西成区 早来工営株式会社大阪工場自衛消防隊

神奈川県川崎市に本社を置く早来工営株式会社は、廃棄物処理の大手である三友グループ傘下の企業です。当グループは廃棄物処理、PCB廃棄物のコンサル及び運搬、汚染土壌処理、省エネルギー事業、食料リサイクル事業、新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）の委託事業など、多岐にわたる事業を行われており、西成区に所在を置く早来工営株式会社大阪工場は、当グループにより一貫して行われている産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理における西日本全域をカバーする関西拠点を担当しています。

同社の自衛消防隊は危機管理意識が高く、当署の自衛消防協議会が実施してい



る消防技術大会におきましても、日頃培われた高い技術とチームワークで例年、上位入賞を果たしておられ、他の従業員の方々も自衛消防隊を中心に防火・防災の意識が高く、地域社会への貢献に向け努力されています。

自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長
浦本 英之

弊社は、産業廃棄物の焼却処理を行っている工場であり、日々の業務の最中にも防火リスク管理を実施しております。また、計画的に訓練を実施し、従業員の意識向上に努めております。



女性 防火クラブ だより

住之江区

住之江区の女性防火クラブは平成3年3月に加賀屋連合婦人防火クラブが77名で発足し、現在では12連合262名のクラブ員が在籍しています。

10月31日に大阪市で初めての女性防火クラブ員による消火技術発表会を開催しました。発表会の内容は3名による水消火器の消火訓練、5名によるバケツリレー消火訓練の2種目です。台風が過ぎ去った秋晴れの中、和やかな雰囲気スタートした発表会でしたが、段々と熱が入り「やるからには勝つ」と、女性の戦いとなり、粉浜支部の女性防火クラブが見事に優勝されました。

災害発生時における地域連帯感の強化と、防災技術の向上が楽しく図ることができた有意義な1日になりました。これからも女性防火クラブ員の方々には、家庭からの出火防止、防火防災知識の普及啓発に努めるとともに「災害の無い町・災害に強い町」をめざし活動していただきたいと思います。





平成29年

秋の叙勲

おめでとうございます

第29回危険業務従事者叙勲受章者として、

次の方々がその栄誉に輝きました。



瑞宝双光章
元消防監
土井 一
(64歳)



瑞宝双光章
元消防正監
太尾 猛
(63歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
木下 宗一
(66歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
池田 育弘
(66歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
百地 憲一
(65歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
越野 信次
(65歳)



瑞宝单光章
元消防司令長
山本 昭
(66歳)



瑞宝单光章
元消防司令長
眞柄 佳正
(66歳)



瑞宝単光章
元消防司令
石橋 正明
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
石田 秀治
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
東井 晴夫
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令長
山本 弘
(65歳)



瑞宝単光章
元消防司令
橋本 彰
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
野瀬 金市
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
長井 五十八
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
川之上 滋
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
南 正憲
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
水谷 時秋
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
古畑 良平
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
藤井 順治
(69歳)



瑞宝単光章
元消防司令
山本 篤実
(69歳)



平成29年

高齢者叙勲

○平成29年1月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令

浦上 謙造 (88歳)

○平成29年4月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令

藏本 義正 (88歳)

○平成29年2月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補

阪下日出雄 (88歳)

○平成29年11月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令

中村 末美 (88歳)

○平成29年2月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令

白木 博 (88歳)

○平成29年12月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補

中村 只夫 (88歳)

勲章受章おめでとうございます



新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平素は災害活動支援隊の運営や活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

災害活動支援隊は平成17年9月に発足して、今年で12年目となります。

この間、大阪市では大きな災害もなく平穩に推移しておりますが、最近の災害を見ますと、台風や集中豪雨で全国各地に水害による大きな被害が出て、多くの方が犠牲になられております。

また、地震に関しましては、近年では、熊本地震や鳥取中部地震など、直下型の大きな地震が発生して甚大な被害が出たことは記憶に新しいと思います。

専門家をつくる地震調査委員会によると、南海トラフで10年以内にマグニチュード8以上の巨大地震が発生する確率が30パーセントと言われています。

このように何時発生するかわからない災害に備えるため、今後、災害活動支援隊は、南海トラフ巨大地震等の自然災害や、武力攻撃事態等、大規模災害発生時における災害対応能力の向上を目的に、消防職員との協働はもろろんのこと、地域住民との連携等より実践的な訓練を取り入れ機能を強化していきたいと考えております。

結びになりましたが、災害活動支援隊の活動の推進に色々とご意見を頂いている「災害活動支援隊の運用に関する検討会」の委員の皆様を紹介させていただきまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

検討委員



大本 清司氏



濱田 一司氏



越野 信次氏



山本 弘氏



橋本 宏司氏



松本 悟氏



寺本 将登氏



山野 高士氏



大阪市消防局
災害活動支援隊
谷口 光行隊長



相談役
鈴木 芳夫氏



元気に冬を乗りきろう
～冬の健康管理について～ Vol.1

厳しい寒さと空気が乾燥する冬になりました。この季節は、かぜ、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症が増えるので、予防法を知って実践することが大切です。

＜かぜ予防＞

◎手洗い

かぜは咳やくしゃみだけでなく、手についたウイルスが口や鼻に入ることでも感染しますので、1日1回は確実な手洗いをするのが重要です。

石けんはよく泡立てて15秒ほど、洗い残しやすい指先・指の間・親指なども入念にこすりましょう。

薬用石けんなどでこすり過ぎると常在菌を殺したり、皮膚に細かな傷をつけたりしてかえって感染しやすくなるので普通の石けんで十分です。



◎うがい

うがい、口やのどへのウイルスの付着を防ぎます。最近の研究で、うがい薬を使わず水だけでも効果があることが明らかになっています。

15秒間のうがいを連続2〜3回、外出から帰った時だけではなく、1日3回程度行います。

また、緑茶や紅茶、梅酢を使ったうがいでも効果があるという報告もあります。



◎マスク

マスクを着用することで、吸う空気そのものを温め加湿することができます。

外出時だけでなく、のどが乾燥しやすい就寝中にもつけると、より効果的です。



＜インフルエンザ予防＞

- ・外出が必要な場合には、人混みを避け、マスクを正しく着用し、外出後は手洗いです。
- ・発熱、咳などのインフルエンザ症状のある方は、咳エチケットを守り、マスクを着用する。
- ・基礎疾患（慢性肺疾患、免疫不全状態、慢性心疾患、糖尿病、腎臓病など）のある方や妊婦は重症化する例もあります。予防には特に注意する。
- ・バランスのとれた食事と十分な睡眠で基礎体力をつける。
- ・室温は20度前後、湿度は50～60%以上に保つよう工夫する。
- ・罹患したと思われる場合は、早めに医療機関を受診する。

＜ノロウイルス予防＞

- ・石けんで手をよく洗いましょう！（２度洗いが有効）
- ・感染した人の便やおう吐物には触れないようにしましょう！
- ・カキなど二枚貝はよく加熱しましょう！

親睦会だより

大阪市消防職員親睦会

平成29年度親睦会ソフトボール大会結果

平成29年度親睦会ソフトボール大会が、11月1日(水)、7日(火)、9日(木)の3日間、淀川河川公園海老江地区野球場において開催されました。結果については表のとおりとなっております。



試合風景



優勝 中央支部Bチーム

平成29年度 親睦会ソフトボール大会対戦結果

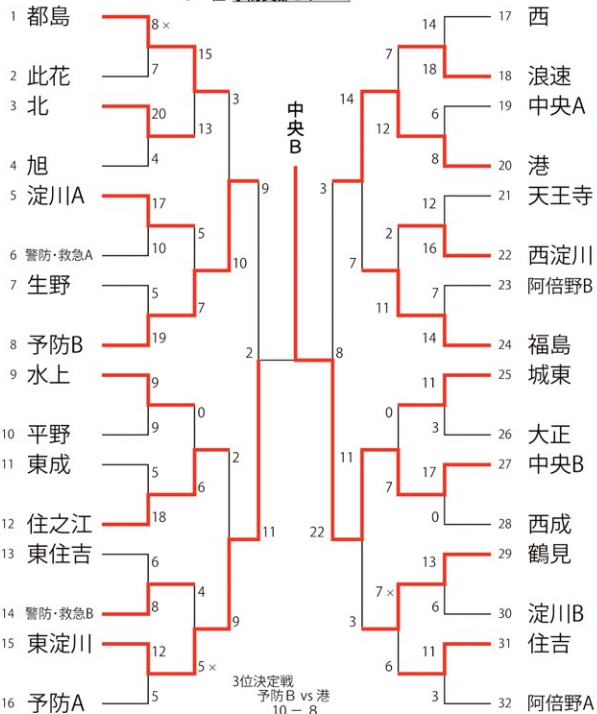
会場：淀川河川公園海老江地区野球場

優勝 中央支部Bチーム 最高殊勲賞 柏木 達哉

準優勝 東淀川支部

敢闘賞 隈元 洸希

3位 予防支部Bチーム



参加者数
27支部
32チーム
812名

優勝・・・中央支部Bチーム
準優勝・・・東淀川支部
第3位・・・予防支部Bチーム
最高殊勲賞・・・中央支部Bチーム 柏木達哉選手
敢闘賞・・・東淀川支部 隈元洸希選手

大坂城(別名: 金城・錦城)

通称「太閤さんのお城」とも呼ばれている大坂城は、上町台地の北端に位置しており、かつては北側に淀川の本流が流れる天然の要害であり、京都に繋がる交通の要衝であった。

この地に、明応5年(1496)浄土真宗の蓮如上人により坊舎から石山本願寺の大寺院へ勢力を伸ばしたが、天正8年(1580)に天下統一を目指した織田信長によって滅ぼされる。

織田信長没後、政治の主導権を握った羽柴(豊臣)秀吉が天正11年(1583)に石山本願寺跡に築城を開始して、天下人の居城にふさわしい大城郭を築いた。秀吉没後の慶長20年(元和元年・1615)大坂夏の陣により落城した。政権が徳川家に移り、2代将軍秀忠の命により元和6年(1620)から10年の歳月をかけて全面的に再築されたが、寛文5年(1665)天主に落雷があり焼失した。

明治以降、陸軍用地として使用されており、明治維新の動乱や第二次世界大戦の空襲により多くの建造物が焼失した。

現在の天守閣は、昭和6年(1931)に大阪市民の熱意により再興され、戦後は史跡公園として整備されて、平成9年(1997)国の登録有形文化財に指定された。



編集室

我が家の年越しは、そばを食べて、日付いや、年があげれば、自宅から歩いて10分くらいに神社に繰り出す。新年を迎えられた高揚感もあり、寒さも心地よい。境内では、大きな焚き火のまわりに氏子が集まり、振る舞い酒も用意され賑やかである。毎年、家内安全と世界平和(このお賽銭の額では・・・?)をお願いする。1年の計は元旦にあり!的なだいたいそれのことを考えず、できるだ



新しい年を迎え、希望に満ちた穏やかな一年でありますようにと、お願いをしました。
木守り柿一つひとつに月宿る

(高)



先月末に版画のカレンダー制作をしており、休み休みながら36時間過ぎた頃から幻影を見るようになった。カーペットに付いた絵具の紙魚が立体的に浮かび上がった動くので、触れてみると消える。洗面台に飛び散った絵具が、象形文字のような模様になって動く。見慣れたビルの上に大きな物体が見え、追いかけると円盤のように動いて空の彼方に消えてゆくが、直ぐに違う所に現れる。その他にも、黒黴が円い球になって……等々、自身がアニメの世界に迷い込んだよう不思議な体験だったのだが、残念ながら一晩眠ったら幻影は消えてしまった。

大阪消防

平成30年1月号 第69巻第1号 通巻第814号

発行 大阪消防清風会

企画・監修 大阪市消防局

編集 大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部

〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54

TEL 06-4393-6036

FAX 06-6582-2864

Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp

年間購読料 年間4,560円
(消費税・送本手数料含む)

制作・販売 株式会社サイネックス



本年もよろしく願いいたします。昔はよく耳にした「年末年始の風物詩」。最近は大晦日も正月も平日とさほど変わらないため、年末年始という感慨は薄れてきている。私の田舎では、年末に必ず餅つきをしていた。餅米を蒸す蒸気が家じゅうに広がっていたり、ストーブの上では鍋の中で小豆が煮られていたり、正月を迎える準備が風物詩であった。餅やおせち料理も簡単に購入できるようになったが、今から思い返すところでも懐かしく、良い思い出である。

(正)

け笑顔の多い1年でありますように。

(隆)

第 1 回

大阪府下救急救命技術研修会

この研修会は、大阪府内全 27 消防本部の救急隊及び指導救命士等が参加し、救急技術の向上を図るとともに、大阪府内消防本部の連携を強化することを目的として実施します。



日時：平成 30 年 1 月 24 日（水）10 時 30 分～13 時 00 分

場所：大阪市消防局 高度専門教育訓練センター（東大阪市三島 2－5－43）

内容：大阪府内消防本部から選出された 12 隊の救急隊が想定訓練を実施したのち、各消防本部の指導救命士が中心となって意見交換を行います。

お問い合わせ：大阪府下救急救命技術研修会事務局

大阪市消防局救急部救急課 TEL06-4393-6628



平成三十年 大阪市

消防土初式

1/6 土 10:00 ▶▶ 12:20

大阪市住之江区南港北2丁目 ATC(アジア太平洋トレードセンター)

大阪市消防局 | ●主催：大阪市 ●協賛：アジア太平洋トレードセンター株式会社
Tel: 06-6582-2854 Fax: 06-6582-2864 Web: <http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>

デザイン協力 HAL大阪 グラフィックデザイン学科 小池 翔

市民と消防
ふれあいコーナー
11:20 ▶ 12:20

OSAKA KANSAI EXPO 2025
2025年 大阪・関西へ
大阪府



防犯 防火 防災 のことなら 防災相談所へ

■ 防犯、防火、その他防災に関するご相談をお伺いしています。

■ 防犯ブザーなどの防犯機器、住宅用火災警報器などの防災グッズを展示・紹介しています。

相談無料

電話によるご相談にも応じています

一般社団法人 大阪府防災通信協会
防災相談所

〒540-0012
大阪府中央区谷町2丁目3番8号 ピジョンビル1階
TEL・FAX (06)6946-1060